

特別顧問 堺屋太一  
平成27年12月28日

## 10万人の大盆おどりメモ

### 趣旨・方向性《ソーシャルイベント》

- ・ 10万人の総踊りという人類未踏破のイベントに挑戦する。
- ・ 大阪「副首都構想」を府民市民が盛り上げていくシンボルイベントとする。
- ・ 浴衣など和装文化に脚光をあてるファッションイベントとする。
- ・ 21世紀型夜店（サービス産業）の実験場、お披露目イベントとする。
- ・ 参加者自らが創り上げ、「大阪はスゴイ！」を体感するイベントとする。

### 企画・内容《スペクタクルファンタジー》

- ・ 道頓堀、御堂筋、大阪城など世界的知名度のある場所を舞台に展開する。
- ・ プロジェクションマッピング、ドローン、各種特殊効果技術を多用し、会場を異空間に演出する。
- ・ 世界に配信するドキュメンタリー番組を同時製作する。
- ・ 世界から「外国連」を公募しインターナショナルな構成とする。

### 組織《大阪の総力を結集》

- ・ 大阪 JC、関西 JC を中心に、経済界、各種団体の主体的参加を募る。
- ・ 「世界盆おどり連盟」を組織し、民謡団体、婦人団体等参加団体との連携を固める。
- ・ 大阪府、大阪市の全面協力を得る。

### 運営《収益事業の構造化》

- ・ 経費の大半は民間でまかなう。
- ・ 全体をいくつもの収益事業に細分化し、個々の事業性を高め、出資・配当のスキームを組み合わせて事業展開する。
- ・ 安全性に配慮する。
- ・ 社会的活動支援に収益金が使われる仕組みを検討する。